

## 公益財団法人三次教育会館2022年度事業報告

創立32年目を迎えた年度でありましたが、この1年も新型コロナウイルスの感染が広がり、とりわけ夏の第7波、冬の第8波と呼ばれた感染拡大の時期は広島県にも大きな影響を与えることとなりました。

当財団は、これまで公益法人として地域に開かれた会館運営をめざして各種の公益事業を展開してきましたが、今年度もコロナ禍により事業をやむなくいくつか中止することとし、例年よりも寄付金減額での運営となりました。そうした状況の中でも、課題としていた教育講演会を10月に開催する事ができました。

当財団は、公益法人改革という時代の流れの中で事業の見直しを図り「公益財団法人三次教育会館」として再出発し、来年は11年目を迎えます。これまで築き上げた事業、実績をさらに発展させ充実させていくために、今後も各事業に取り組んでいきます。

### 1. 教育・文化振興事業

#### (1) 親子映画鑑賞会

これまで毎年開催してきておりました親子映画鑑賞会は、昨年度同様にコロナウイルス感染拡大の状況から、子どもたちを集めて行うこの事業は実施の見通しを持つことができないと判断し「中止」としました。

#### (2) 三次教育会館音楽会

教職員美術展と隔年で開催してきた音楽コンサートは、昨年度予定をコロナ禍のため今年度に延期としていましたが、第7・8波のコロナウイルス感染拡大の状況を受けて、今年度は「中止」としました。

#### (3) 教職員研修会

教育講演会「ダイアンから見た日本」

2020年、2021年と延期して来た教育講演会を10月29日(土)に開催しました。

当日は講師ダイアン吉日さんの60カ国以上を旅した経験談や、日本に来たときの驚き、文化の違いなどをパワフルでユーモア溢れるトークを交えての講演と「わかりやすい英語落語」がとても好評でした。

約60名のご参加をいただき、無事終了することが出来ました。

## 2. 教育研究・調査資料の収集

### フィルムライブラリー等の運営

○全体としては利用が年々減ってきています。

特に今年度は、コロナ禍での学校現場の状況からか数件の平和教材のみで貸し出しが少なかった。

2022年度の新規購入なし。

○2022年度の新規図書購入 なし。

## 3. 会議室等の利用

○開館日数年間約200日、会議室利用回数約40回、利用者のべ約600人。

## 4. ホームページの更新による情報公開，情報発信

○今年度ホームページのリニューアルに着手し、2022年4月から運用できるようになり、この間休止していた内容の更新をすることができるようになりました。

○公益目的事業の告知等については、主にはチラシやポスター配布、また時には三次ケーブルビジョンで事業の告知等を行っています。

\* 2022年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。